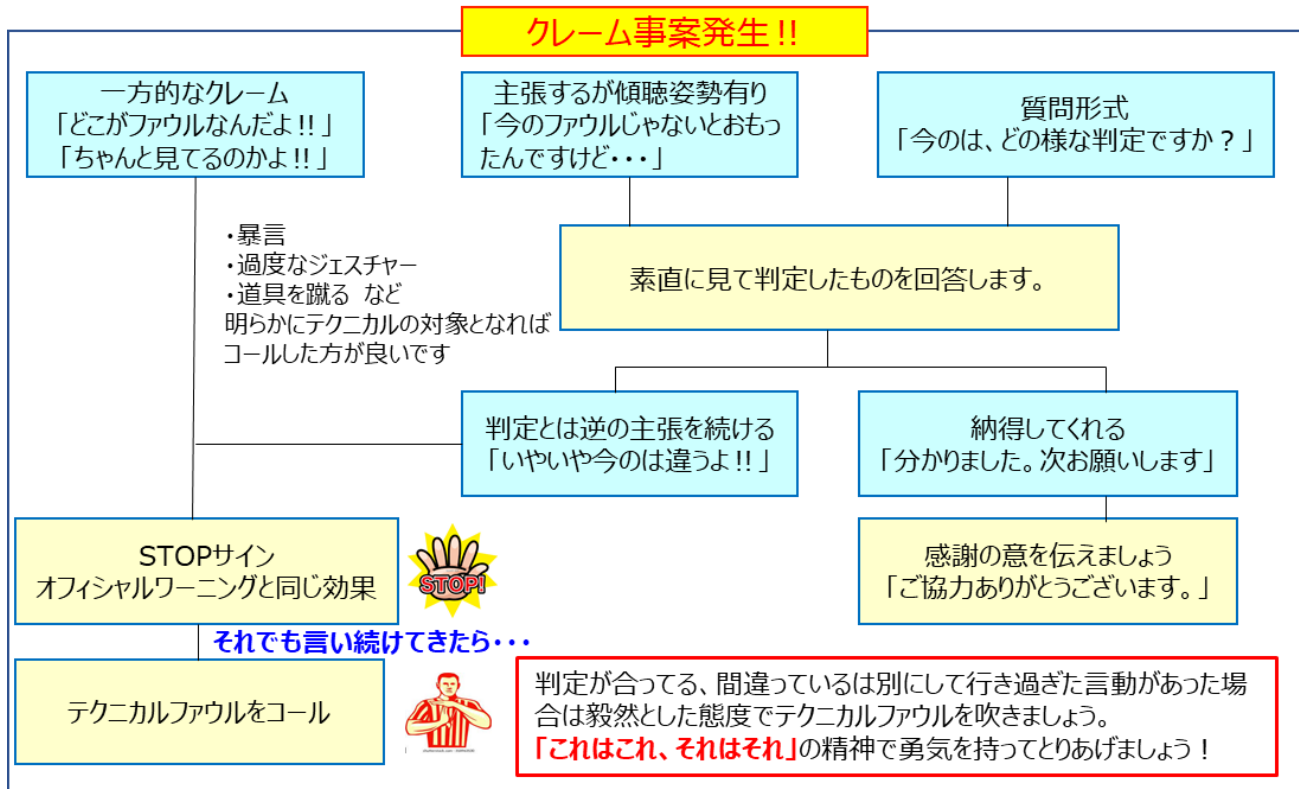




ゲーム中のコミュニケーションスキルアップについて

レフリー通信ブラッシュアップアンケートでも「コーチやプレイヤーからのクレーム」が弊害になってしまっていることが明らかでしたね。自分自身もやはり文句を言われるのは好きではないです。トップリーグの世界では、ファウル1つで選手の契約が切れてしまう厳しい世界です。選手からの主張というのは合っている否に関わらずものすごく圧がかかります。

その中で、こんなことに気を付けてコミュニケーションを取っているということをフローチャートにしてみました。実際の現場とは違ってくるところもありますが参考にしてみてください。



ゲーム中のコミュニケーションは置かれている立場やライセンス、年齢などによって無限大の選択肢があります。あの人がやってたから同じようにやっても上手くいきませんし、自分で考えた方法を実践したら上手くいくこともあります。常にどうやったらいいコミュニケーションができるかを模索しながらゲームに臨んでいかなければなりません。

それでも共通して言えることは「まずは相手の主張を聴くこと」です。相手が主張してスッキリする部分もありますし、何を言いたいのか把握できることもあります。恐れずにチャレンジし続けることが成功のカギとなってきます。少しでもヒントになったら光荣です◎

レフリーQ&A

レフリー通信ブラッシュアップアンケートで、ゲームで困ったことや解決できなかったことなどについてどの様に対処したらよいか教えて欲しいと記載していただいた方が多くいました。答えになるか分かりませんが、解決のヒントになればと思っております。

クォーターの終わりやゲームの終わりのブザービーターについて迷ってしまってベンチからクレームが来てしまいます。どうしたら良いでしょうか？

ゲームには終わりのブザーEOQ(End Of Quarter)・EOG(End Of Game)が必ず4回訪れます。ブザービーターを狙ってショットをするケースが多くみられますが、カウントかノーカウントかを決めるのは審判の見せ所。0.0秒時にボールが手から離れているかどうかで判断します。

どちらにせよ、レフリーが決め切ることが大切です。決めるまでの時間が長ければ長いほど両ベンチの期待度は高くなり不利になったチームからはクレームが来る確率が高くなります。自分で確認してすぐに決め切るプレゼンテーションと笛を力強く吹くことで両ベンチよりクレームが来ることなくスムーズなゲーム運営ができると思います。

ちょっとPOINT

相手に文句を言わせる隙を作らないでプレゼンすることをKill The Doubt(キル・ザ・ダウト)と言います。





全国社会人選手権大会大会参加報告 報告:青木紀江 所属:U-15

日程	対戦	CC	U1	U2
2/23	エネステージ熊本 (九州2位) Chupacabras (近畿6位)	青木	佐々木尚人 (岩手)	勝野瑞貴 (富山)
2/24	JOIN (四国1位) 遊籠倶楽部 (東北1位)	青木	相澤慎之助 (青森)	佐藤凜明 (佐賀)



岩手県花巻市開催ということで、まず初めに・・・花巻市の事について何人かの人に聞いてみました。結果、、多かった回答が①わんこそば、②大谷翔平の母校、この2つの回答がほとんどでした。実際わんこそばは食べられず、花巻市に入った夜は翌日からのゲームに備えるため、ホテルの近くにある定食屋へ行き心も体もポカポカになりました。

全国社会人初日は、初めて一緒に吹かせてもらうクルーや、北は北海道、南は沖縄の方々へ自己紹介をしました。

今回は男子ゲームも吹かせていただき、今まで県内の社会人ゲームで鍛えてもらったことを活かすことや、クルーワークを発揮できる場面が多かったと思います。このように初めて一緒に吹くクルーでも、自己紹介からPGC、ゲームに入るまでの間にコミュニケーションをとり、短い時間の中でもお互いのことを知ることで新たな繋がりができたと感じます。

また、トップリーグを担当している方達に見てもらったり、ポストカンファレンスでは今まで気付けなかったところのアドバイスをいただいたりと、私にとってこの3日間はとても貴重な時間を過ごすことができました。全国に仲間ができること、私にとって審判をやっていて良かったと感じる瞬間です。

「仲間を作ってくるんだよ」この言葉の意味が、少しずつ分かってきました。

控室では、各県の銘菓が並べられており、私にとって【幸】しかありませんでした（笑）せっかくなら、全部堪能したいという気持ちを抑えられず・・・並んでいる銘菓を一つずつ私の手の中に収めていきました。

静岡県からは、「うなぎぱい」を持っていき、初日で完売したことが嬉しかったです！

たくさんの新たな出会いがあり、多くのことを学び、たくさんのお菓子をお腹いっぱい食べ、大きく成長して静岡に帰ってきたと思います（笑）

今回経験させていただいたことを今後の審判活動に生かすとともに、県内でも皆さんと情報共有できたら嬉しいです。

貴重な3日間をありがとうございました。

